

ふれあい

2022

3

No.420

牛久愛和総合病院 広報誌



放射線科部長就任にあたって

常仁会グループ読影センター長兼放射線科部長 山添 真治

皆様、こんにちは。この度、牛久愛和総合病院放射線科の部長として入職させていただきました山添（やまぞえ）と申します。当病院には長い間非常勤として勤務させていただき、画像診断や下肢静脈瘤・透析シャントの治療などをお手伝いしてきました。今後はより一層画像診断、治療を行っていく所存であります。



放射線科は基本的に外来を持っておらず、様々な科から依頼を受けてレントゲンやCT、MRIなどを撮像し、画像を診て診断を行う特殊な科です。ですので一般的には直接患者様とお会いする機会はありませんが、先入観なく画像を診させて頂くことで患

者様の困っている原因が何であるかを読み解き、場合によっては主治医の先生とディスカッションをして患者様の利益となるように努めてまいります。

画像診断は放射線科医一人ではできない仕事です。症状によって撮影する機械や方法を変更することがあります。また撮影した画像を再構成することもあります。そのため放射線技師との連携が重要となります。昨年放送された『ラジエーションハウス』で話題になったと思いますが、放射線技師は放射線曝射および画像撮影のスペシャリストです。当院には特に優秀な放射線技師が在籍しておりますので、彼らと連携して安心・安全・質の高い画像を提供していきたいと思っています。

私は昨年まで国際医療福祉大学成田病院に所属しておりました。前職では放射線業務の傍らIVR（画像下治療）や血管外科の業務の一部も担っており、特に血管系の診療をさせていただいておりました。当院でも下肢静脈や透析シャントを中心に幅広く血管の治療に携わらせていただき、血管の病気で困っている患者様に貢献できればと考えております。また今まで当院では行っていなかったその他の画像下治療も少しずつ行っていければと考えております。カテーテル治療も画像ガイド下治療の一環で、心臓や脳動脈の治療はすでに循環器科、脳神経外科の先生が行われていますが、私はそれ以外の体幹や四肢を中心に治療に携われたいと考えています。また体の中に溜まった膿の治療や腫瘍の組織採取も画像ガイドで低侵襲に行うことができますので、患者様および当病院に貢献できればと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。



こころが知りたい!

Q & A コーナー



Q 新型コロナウイルス3回目の接種について教えてください。

A 新型コロナウイルスの流行が依然続いています。ワクチンで解決!と思いきや、3回目の接種が必要。と聞くと、がっかりしておられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私は小児科医なので、子どもたちに多くの種類のワクチンを接種します。多くのワクチンが、最初の免疫を確立する初期接種と呼ばれる2-3回の接種と、その後、時間が経って下がってくる時期に、ワクチンで獲得した基礎免疫を再活性化する追加免疫(ブースター接種)で2-5回接種のスケジュールで設定されています。ですので小児科医にとっては新型コロナウイルスも何回も打つ必要がある可能性については、あまり驚くことではありませんでした。

今回の新型コロナウイルスは今までに使用されてきた実績がないため、最初の2回接種後の免疫持続期間がどのくらいあるかというデータは進行形で集めています。最初から何回で完了と

決められない状況でのスタートとなりました。そして最初の2回接種後の感染予防効果が9割とあまりにも優秀だったため、2回で完了するのではないかと。という希望的観測もなんとなく漂っていました。もちろんそうならばありがたいのですが、実際は世界的に見るとワクチン供給の不均衡があったり、接種スピードが十分でないなどの状況もあり、新型コロナウイルスの完全制圧とはならず現在に至っています。その間に新型コロナウイルスは変異をしながら流行が続き、デルタ株と比較するとオミクロン株に対する感染予防効果が落ちる、6か月すると感染予防効果は3-4割まで低下するなどのデータから、今はなんとなく皆さんのワクチンへの期待度が下がっている状況なのかな?と接種会場の問診をしながら感じています。

とは言え3回目の接種で感染予防効果も回復し、重症化予防効果も十分にあるので、特に重症化リスクの高い方への3回目の接種は大切です。ファイザー社、モデルナ社どちらのワクチン

も効果はほぼ同様です。先行で接種が勧められている高齢者の皆様は、待つことなく接種予約が早く入るもので早めの接種をお勧めします。

詳しく知りたい方へ: 大阪大学の忽那先生がこちらでとても分かりやすく書いてくださっています。

<https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunatasatoshi/20220213-00281892>

(小児科部長 稲見由紀子)



入 職 者

2月1日付

■ 春秋園

■ ケア・サービス部

介護福祉士 西村 美智子

施設勤務は初めてですが個人の思いに耳を傾け誠意をもって寄り添っていききたいと思っています。

2月16日付

■ 看護部

看護助手 小林 果鈴

笑顔絶やらず、皆様が快適に過ごせるように努めていきます。



春秋園だより

今回は春秋園に入所されている利用者様に対してリハビリスタッフがリハビリを行う以外でどのように関わっているかご紹介させて頂きます。

春秋園では相談員や介護士、看護師、リハビリを交えて定期的にカンファレンスを行っています。そこで利用者様の様子の変化や今後の方向性などを話し合い、適切なケアの提供やサービスの調整ができるように情報を共有しています。リハビリの役割は主に身体機能や動作能力を把握し、動作が行いやすく安全に生活できるような環境の提案や調整を行うことです。



具体的にはベッドの高さや手すりの種類、車椅子やシルバーカーなどの歩行補助具から、スプーンや靴、クッションなどの選定や調整も行います。

実際にベッドの高さや手すりを調整することで起き上がりや立ち上がりがしやすくなることは多く、環境調整で良く用いられます。また車椅子を漕ぎやすい高さに変え、ブレーキの操作がしやすいようにレバーを延長するなどの工夫をします。環境調整の方法は一つだけではなく利用者様一人ひとり違います。そのため利用者様によっては写真のように滑り止めマットを敷いて、より踏ん張りが効きやすい環境に調整されることもあります。

運動を行い、筋力をつける以外にも環境調整や補助具の選定、ケアの方法を工夫することで動作がしやすくなり自分でできることが増え、安全に生活できる可能性はぐっと高くなります。引き続き利用者様一人ひとりが、その人らしく安全に生活できるように関わらせて頂きます。

(春秋園リハビリスタッフ一同)

部 署 紹 介

C3階病棟

部長 佐藤 陽子

C3階病棟は主に消化器外科、整形外科の検査、手術前、手術後の患者さんが多く入院している急性期病棟です。検査や手術を控え不安をもつてこられる方や日常生活にお手伝いが必要な方に寄り添い、一日でも早く退院できるように看護しています。

スタッフは総勢24名、新卒看護師から家庭と仕事の両立に奮闘する看護師まで、幅広い年齢層で男性看護師も活躍しています。スタッフ同士、声を掛け合い笑顔で楽しく仕事ができる職場です。

予定している入院や手術以外にも緊急を要する患者さんの受け入れもあり、忙しい毎日です。医師を中心としてリハビリ、薬剤科、栄養科、各検査部門、MSWと協力して様々な問題を解決できるように相談しながら安全なチーム医療を目指しています。

このような日々の中で、患者さん方が少しずつ回復していく姿や退院される時の笑顔をみると、また感謝の言葉をいただくことは看護の喜びや励みになり、大きな活力になっています。コロナ禍による病棟の面会制限により、入院や手術を受ける不安はさらに大きいものとなっています。御家族に会えない患者さんの不安や心配なさるご家族のお気持ちを少しでも和らげることができると看護師であるよう今後も努力していきます。

感謝の声

病院はいろいろありますが、私は愛和さんが一番看護の質が良く感じました。頑張ってください！どうか頑張ってください！

人間ドックで利用させてもらっています。問診の先生が今回は違っていたのですが、とても良かったです。職員に一言いっただけです。ありがとうございます。来年もまた来ます。



春秋園紹介

主任 細谷 義宏

通所リハビリテーションについて

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門職がご利用者様の心身健康を維持・向上できるように、身体機能や生活環境に合わせた個別プログラムを作成し、機能訓練を行う為に施設に通って頂くサービスです。

サービス内容：送迎（車椅子乗車可能）、健康チェック、リハビリテーション（機能訓練）、入浴介助、排泄介助、食事の提供、趣味や社会参加に繋がる活動の提供をします。また、介護保険のサービス



編集だより

少しずつ日が延び、寒さの中にも春の小さな芽吹きを見つける季節になりました。季節の変わり目ですので、体調を崩さないよう生活を整え、春の訪れを楽しみましょう。
(Y・N)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床（一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床）

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内科（禁煙外来）
整形外科（股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節）
小児科（小児循環器、小児心理、小児免疫）
皮膚科（レーザー外来）
外科（下肢静脈瘤外来）
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査（乳がん検診）

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
人工透析センター	
地域リハ・ステーション	
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100
ひたち野ステーションクリニック	Tel 029-896-6200
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久	Tel 029-817-5111

